

東日

# 海辺の串フエス大盛況

## ラグーナで初開催 地元食材魅力満載 2万5000人が多彩な美味に舌鼓

蒲郡市海陽町のラグーナテンボスで20、21両日、「海辺の串フエス」が開かれた。キッチンカーやテント張りの34店が立ち並び、海鮮や肉、デザートなどを串刺しで販売。主催者によると2日間で2万5000人の人出でにぎわった。(多田羅有美)



市内形原町の「味のヤマスイ」は、地元で水揚げされたスルメイカのゲン焼きやメヒカリの唐揚げなどを販売した。21日、フランクフルトが焼き上がるのを待つ来場者(蒲郡市・ラグーナテンボスで)

日はひっきりなしに客が並び、200本用意したゲン焼きが午前中に売り切れた

田原市の「田原ポーク」を使ったフランクフルトなどを販売した

売した「フェニックス菜市」の斎藤隆典さんは「地元食材を知ってもらいたいイベントは貴重。今後も続けてほしい」と期待を寄せた。ほかデザート類は色鮮やかな綿菓子や、あめがけしたイチゴ、ワッフルなども人気を集めた。

## 東日 追い風帆いっぱい海上駆ける

### 蒲郡でヨットレース「第37回エリカカップ」 緊迫の攻防制しナルミが優勝

国内有数のヨットレース「第37回エリカカップ」は21日、蒲郡市沖の三河湾で開かれた。県内を中心に50艇が参加。天候に恵まれ、追い風を帆いっぱいにはらんだヨットが熱戦を繰り広げた。

三河大島の南東の海面に設置された3カ所のマークを周回する全長約16キロのコース。快晴の下、出場艇は午前10時半ごろ、一斉にスタートを切った。マーク際ではヨット同士がギリギリまで接近し、緊迫した攻防を繰り広げた。



の岩瀬喜貞さんは「障害物がない三河湾は国内で最も恵まれた環境。最高のコースで転回する出場艇(蒲郡市沖で) 優勝はナルミV2位、ブーメランV3位、ブーメランFR(いずれもラグナリーナ所属) 総合成績は次の通り。

東愛知

## 蒲郡の沖合でエリカカップ 晴天の下で50艇快走

### 遊覧船からヨット見守る350人



絶好のヨット日和に恵まれたエリカカップ=蒲郡の沖合で

国内有数のヨットレース「エリカカップ」が21日、蒲郡の沖合で開かれた。愛知、三重の両県から50艇のヨットが出場した。

1981年7月23日に冒険家の長江裕明さんを乗せた「エリカ号」は、常滑市から出港し4年9カ月かけて、25カ国と1000以上の港を訪問。86年に蒲郡の港に帰って

きた。大会は帰港を記念して始まり、蒲郡が「ヨットのまち」と呼ばれるきっかけとなった。今回で37回目。例年、延べ約1万3000人が大型遊覧船などに乗船し、沖合を観戦する。

この日は絶好のヨット日和。レースは午前10時半にスタートした。大型遊覧船から約350人が見守る中、各艇は帆を広げ、風に乗って指定されたポイントを目指して競り合った。

【林大朗】

東愛知

# 体の構造から進化学ぶ

蒲郡市生命の海科学館で特別展

## 竹島の生物標本など紹介

蒲郡市港町の市生命の海科学館は、特別展「みんな生きてる！ 進化の世界は十人十色」を開いている。6月25日まで。

竹島に生きる多種多様な生物に焦点を当てる。それぞれの生物が進化の過程で獲得した体の構造について伝え、多くの人



脱皮途中のイシガニの標本

に興味と関心を持ってもらう。

展示は竹島で採取したメバルやハマグリなどの標本とカンブリア紀の化石など26点。脱皮途中のイシガニの貴重な標本を見ることが出来る。展示した生物の体の特徴を分かりやすく解説したパネルを掲示したほか、訪れた子どもが生物の構造を楽しく学べるよう、アサリやカニのぬいぐるみを用意した。

展示担当の高井美樹さんは「身近な海に住んでいる生物は、それぞれの環境に適応して進化してきている。体のつくりの違いを見比べてほしい」と話した。

3階科学ひろばで入場無料。午前9時から午後5時まで。

【林大朗】

毎日



竹島海岸で潮干狩りを楽しむ人々(蒲郡市)

## また来られたね 蒲郡・潮干狩りにぎわう

ゴールデンウィーク後半の5日、愛知県蒲郡市の竹島海岸では潮干狩りを楽しむ約3000人の行楽客でにぎわった。

愛知県小牧市から3家族12

人で来た加藤莉奈さん(10)は「久しぶりに友達と来ることができたので楽しい。貝はアサリの味噌汁が大好きです」と笑顔で話した。

蒲郡漁協竹島支所による

と、昨年の猛暑と台風の影響でアサリやハマグリは例年より少ない。貝を見つけれない時は、たくさん取っている人の近くで探すのがポイントだという。【兵藤公治】

東日

## 映えて美味「串グルメ」召しませ

ラグーナで20日と21日「海辺の串フェス」

蒲郡市海陽町のラグーナテンボス・フェスティバルマーケット屋外芝生広場で20、21両日、「海辺の串フェス」が開かれる。市特産の深海魚をはじめとする海鮮や肉、写真映えるスイーツなどの「串

グルメ」を販売する。34店が出店を予定している。

メヒカリやニギスといった深海魚の串揚げやアユの塩焼き、イカの炭焼き、フランクフルトや串カツなどの定番のほか、シーフードピザやエビマヨなどの変わり種もある。綿菓子やドライフルーツ、ワッフルなどのデザート類も串に刺して提供される。

両日ともに午前10時から午後4時30分まで。日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環で、「海

・みなど・蒲郡実行委員会(小田泰久実

行委員長)が主催する。問い合わせは、ラグーナテンボスインフォメーションセンター(097)1171へ。



イベントを知らせるチラシ

読売

### 潮干狩り海岸にぎわう 蒲郡

好天に恵まれたこどもの日の5日、蒲郡市の竹島海岸はたくさんの潮干狩り客でにぎわった。蒲郡漁協竹島支所によると、この日は約3000人が来場。長靴やサンダル履きの家族連れが2.5坪ほどに育ったアサリなどを熊手で次々と採っていた。

家族5人で訪れた春日井市の中学3年、戎井陸君(14)は「貝を見つけるのは難しかったけど、楽しかった。みそ汁やバター焼きにして食べます」とたくさんの貝を両手に笑顔を見せていた。



潮干狩りを楽しむ家族連れら(5日、蒲郡市で)＝菅野靖撮影

中日

## 東三河ファン 都市から取り込め 県が事例集

県は、東三河地方の地域活動活性化のため、名古屋などの都市住民に「地域のファン」になってもらう手引となる事例集をつくった。人口減少や高齢化で地域の担い手不足が深刻な地域に、いかに都市部から地域の担い手を取り込むか、東三河を中心とした具体的な事例から効果的な策を集めたという。東三河県庁のウェブサイトで公開している。(梅田歳晴)



先進事例集の表紙＝県提供

都市部の住民が、地方の祭りやイベントへの参加のほか、副業などを通じて地域と関わりを持つようになる。その地域を支えるファンとなり、「関係人口」と呼ばれる。

事例集では、地域のファンとなつてくれた人(関係人口)を活用する利点を説明し、こうした人材を生かすための手順を紹介。その上で、「環境・景観保全」「まちづくり・地域おこし」「歴史・文化・スポーツ」など五分野に分類し、新城市や東栄町、豊橋市のほか、豊田市や蒲郡市など計十一の事例を載せた。

事例の一つとして紹介されている「三河古宮城址保存会」(新城市)では、「城好き」が地域の内外から集まり年一回、十五人程度で一時間半ほど、清掃活動や歩道整備などを行っているという。古宮城は戦国時代の城郭がほぼ完全な状態で残され、その貴重さを理解した訪問者が増えている、と指摘している。

また、蒲郡市の海・みなど・蒲郡実行委員会はコスプレ愛好家のイベントと連携。写真映える海で撮影したい愛好家約五十人に、大塚海浜緑地周辺で清掃活動に参加してもらったという。事例集は、PDF版で二十七頁。東三河県庁のポータルサイト「穂つとネ」に掲載している。

新城 城好きが集まり清掃活動 蒲郡 コスプレイベントと連携

東日

浦郡市旭町の繊維会社「森菊」は1897(明治30)年創業の老舗企業。伝統を守りながらも、社員の健康づくりのためには新しいことを続々と取り入れている。女性社員の積極採用を進めた結果、現在



市川喜英社長(浦郡市・森菊)

### 社員の健康状態把握徹底 催しで地域との交流も

健康経営優良法人フライング500認定⑥

【森菊】



社内で開かれるヨガ教室(同)

を呼び、3年目を迎えた。社員間のコミュニケーションはもちろんだ、地域住民との交流も活発化した。定期健診は全社員が受診。胃カメラなどの追加料金も会社が負担するほか、再検査が必要になった場合は結果報告を促し、健康状態の把握を徹底している。昼食はカロリー計算された注文弁当を会社負担で提供。また受動喫煙対策として屋外に喫煙所を設置。将来的には全面禁煙を目指している。

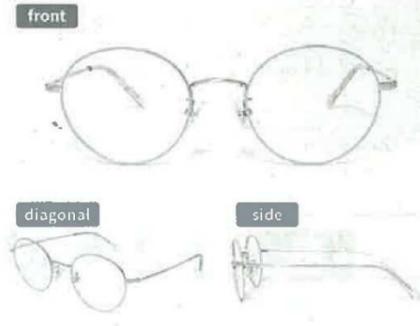
東日

### ニデックがCFサイトで先行販売

掛けるだけで化粧したような目元になれる眼鏡ブランド「LILLY COULURE(リリクール)」に新色のメタルフレームが加わった。メーカーのニデック(浦郡市拾石町)は8日、クラウドファンディングサイト「Make a ke(マクアケ)」で先行発売を始めた。30日まで。

### 新色メタルフレーム登場

リリクールはレンズ中央に带状の染色が施され、目元にアイシャドーを塗ったような立体感が出る。2021年に同社が発売した。新たに加わったフレームは金属製でグレーとブラウンの2色。丸みのある形が特徴だ。レンズはピンクブラウンやコーラルなど全5色から選べる。環境負荷が少ないこともポイントの一つ。独自のレンズ染色技術により、加工時に出る廃液が従来の1万2000リットルから10リットルへと大幅に削減された。価格は税込み2万6400円。「超早割」として先着各10本まで同2万9000円で販売する。



先行発売のオリジナルフレーム(グレー) = 提供

東愛知

### 蒲郡で歯の健康フェス

歯科医師会などが来月4日 相談や検診、子ども向け体験

蒲郡市歯科医師会などは、浜町の市保健医療センターで歯について考えるイベント「歯の健康フェスティバル」を6月4日に開く。

例年、歯の健康管理の知識を深めてもらうようと企画している。歯科相談や子ども対象のフッ素塗布などが内容。今年には新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5類になったことを受け、多くの人が楽しみながら、歯について考えてほしいとコーナーを拡大した。入場無料。従来の相談会に加え、市民病院の口腔(こうくう)外科の専門医による口腔がん検診と、若い世代に向けた歯科衛生士の仕事紹介もある。また、コロナ禍で中止が続いていた小学生対象の歯医者体験を復活させた。市健康推進課の春田恵子さんは「歯や口の中を気にかけるきっかけにしてほしい」と話した。

【林大朗】



ポスターを持ってPRする市職員 浦郡市保健医療センターで

東愛知

### 深海魚やスイーツも

海・みなと・蒲郡実行委 20、21日に「串フェス」



イベントをPRする小田さん=蒲郡市役所で

「海・みなと・蒲郡実行委員会」は、蒲郡市海陽町の複合施設フェスティバルマーケットの屋外芝生広場で「海・みなと・蒲郡 海辺の串フェス in ラグーナテラス」を20、21の両日に開く。海の現状を伝え未来へとつなげる日本財団の活動「海と日本プロジェクト」の一環。多くの人の海の大切さを学ぶ場として各種体験型イベントを開いている。

食を通じて水産資源の重要性を訴え、深海魚でまちおこしに取り組む蒲郡をPRするため、家族が楽しめるイベントとして、気軽に食べやすい串物に注目した。市内外の34店が、深海魚のメヒカリとニギスを使用した串揚げなどを販売。また、イチゴのスイーツ串や肉串などを用意する。入場無料。両日とも午前10時から午後4時半。詳細は専用サイトQRコードから。実行委事務局を務める市企画政策課の小田将也さんは「深海魚の串を食べ、蒲郡の海について考えてほしい」と話した。

【林大朗】



中部経済

### 7月に人材育成セミナー

蒲郡会議所 三遠 蒲郡商工会議所は7月11日、蒲郡港町18の23の同会議所で人材育成セミナー「集客&売り上げアップセミナー」を開催する。参加者を募集している。

ホームページコンサルタント永友事務所の永友一朗代表が「グーグルのサービスを使った顧客ニーズの把握手法」などを解説する。参加費は東三河地方の会議所、商工会の会員企業は税込み3千円、非会員企業は同6千円。問い合わせは同会議所(電話053366・68・7171)まで。



東日

# 民話「仏島」などアニメ42作品

## 上映始まる 蒲郡・ラグナシアで9月末まで

蒲郡市海陽町のラグナシア・アートシアターで、海辺のまちに伝わる民話を基にしたアニメ作品の上映が始まった。9月30日までの期間中、蒲郡市に伝わる「仏島」をはじめ42話を公開する。無料で観覧できるが、ラグナシアの入場料が必要。

作品は日本財団による「海と日本プロジェクト」の一環で、日本昔ばなし協会(東京)が2018年から昨年にかけて、全国を舞台に制作した。県内では蒲郡が唯一選ばれている。今回は海・みなど・蒲郡実行委員会の主催で「海って何だろう?」と銘打ち、上映会を開くことにした。

仏島は、蒲郡市沖の三河湾に浮かぶ実在の無人島で、船乗りが相次いで亡くなることから「船の墓場」と呼ばれた。36年前にも、テレビアニメ「まんが日本昔ばなし」で取り上げられたことがある。



アニメ「仏島」の一場面

東愛知

# 海の民話を上映

## 蒲郡のラグナシアで「仏島」をはじめ40作品のアニメ

「海・みなど・蒲郡実行委員会」は、蒲郡市のテーマパーク「ラグナシア」で海を題材にした民話のアニメーション作品の上映を始めた。9月30日まで。

日本財団の活動「海と日本プロジェクト」の一環で、アニメは一般社団法人「日本昔ばなし協会」が2018年から昨年にかけて、全国を舞台に制作した。県内では蒲郡が唯一選ばれている。今回は海・みなど・蒲郡実行委員会の主催で「海って何だろう?」と銘打ち、上映会を開くことにした。



上映予定の仏島をPRする市職員＝蒲郡市役所で

と連携した取り組み。海にまつわる民話が伝わる地域を対象に、話に込められた思いや警告、教訓を次の世代を担う子どもに語り継ぐ。

これまでに、全国42自治体の民話がアニメ化された。蒲郡は三河湾の仏島が舞台となった話が取り上げられた。三河大島に隠れて市街からは見えない。

実行委は、作品を通して海の大げさや危険性について話した。【林大朗】

東日

# 来月、はず 夢ウオーク

## 三ヶ根山あじさいフェスコース

第70回ははず夢ウオークが6月17日に開かれる。西尾市の名鉄蒲郡線西幡豆駅を出发点、東幡豆駅を目指す全13・7キロ。途中、三ヶ根山の山歩きも楽しめる。山頂では、あじさいフェスティバルが開かれる。

無料で参加できる。事前申し込みは不要。当日は西幡豆駅前午前8時半〜同10時に受け付け後、随時出発。ゴールの受け付けは午後3時まで。完歩した人には、数量限定でオリジナルのピンバッジを贈る。

問い合わせは、幡豆公民館(西尾市教育委員会生涯学習課) 電話0563(63)01300へ。

中部経済

# 西濃運輸 FC大型トラックを走行実証

## 6月から国内初検証 東京支店拠点に開始



走行実証を開始するFC大型トラック(白)と都内の支店に導入したFC小型トラック

西濃運輸(本社大垣市)は6月から、水素で走る燃料電池(FC)大型トラック(10トン)の走行実証を東京支店(東京都江東区)を拠点に開始する。17日に名古屋西支店(あま市七宝町)で、日野自動車から提供された使用車両を公開した。FC大型トラックの走行実証は日本初となる。走行実証は同社のほか、アサヒグループジャパン(本社東京都)、ヤマト運輸(本社東京都)など3社でも実施。トヨタ自動車と日野自動車共同で開発したFC大型トラックは大型水素タンク6本を搭載し、航続距離は600キロという。

毎日

# ボトル水市場1.7倍

## 国連大報告書 109カ国、過去10年で

世界でペットボトルなどに入った水の市場規模が2030年までに現在の2倍近くに増え、地下水の枯渇やプラスチックごみ問題などを悪化させる懸念があるとの報告書を国連大の研究グループがまとめた。「ボトル入りの水を買えない貧しい人との間で不平等を拡大させ、飲み水に関する持続可能な開発目標(SDGs)達成の障壁になる」とした。



東京都港区の処理施設に運び込まれた大量のペットボトル

国連大の水・環境・保健研究所(カナダ)が、日本を含む世界109カ国のデータなどを分析した。世界のボトル入り水の消費量は21年に3500億リットルに上り、市場規模が過去10年で1.7倍になった。国別では米国が614億リットルとトップで、中国、インド、ロシアの順。日本は100億リットルで8位だった。20年に2700億リットルだった売上額は、30年までに5000億を指す。

世界では20億人が安全な飲み水を手に入れない状況にある。報告書は「高価なボトル入りの水の拡大が、飲み水問題の深刻さを覆い隠し、政府が公共水道への投資を拡大する妨げになっている」と指摘した。



東日

### ソフトテニスで全国高校総体へ

蒲郡市長へ意気込み語る 豊川高校3年生・太田晃さん



全国高校総体(インタハイ)へ出場を決めた豊川高校(豊川市)ソフトテニス部の3年生、太田晃さん(18)は、蒲郡市水竹町に26日、蒲郡市役所を訪れ、鈴木寿明市長に大会への意気込みを語った。

同校ソフトテニス部としては4年ぶりの全国出場となる。これまでの最高成績はベスト32だ。太田さんは「それを上回るベスト16まで勝ち進むのが目標。力を込めた。鈴木市長は「真夏の厳しい大会になるが、少しでも上位を狙ってほしい」とエールを送った。太田さんは母や姉の影響で小学4年生からテニスを始めた。変化に富んだ攻撃的なプレーが持ち味だ。後衛を務め、1年前から同校の磯部銀さんとペアを組んでいる。

5月に一宮市であった県大会に出場。男子ダブルスでベスト8入りを果たし、全国切符をつかんだ。全国大会は北海道苫小牧市で7月22日から29日にかけて行われる。

(多田羅有美)

鈴木市長に意気込みを伝えた太田さん(蒲郡市役所で)

東愛知

### SUPやビーチアート楽しむ

海・みなど・蒲郡実行委 西浦中3年生が体験

「海・みなど・蒲郡実行委員会」は27日、蒲郡市の西浦温泉パームビーチで市立西浦中学校3年生を対象にした、海に触れる体験プログラムを開いた。

海の現状を伝え未来へとつなげる日本財団の活動「海と日本プロジェクト」の一環。地元の子どもに、蒲郡の海に興味を深めてもらおうと企画した。西浦でマリンスポーツ(SUP(サップ))教室を開く「LOVE ARTH(ラブアース)」と協力し、市内5小学校と3中学校の児童生徒に海の重要性を伝える。

この日、ラブアースの山村まい子さんが指導した。3年生はサップや魚釣り、ビーチアート作りのチームに分かれて体験。専用ボードに乗って海面を進む方法を学んだほか、波をイメージしたアートに挑戦する生徒も西浦温泉パームビーチで

中日

### 来月、高校総体ソフトテニス出場

## 豊川高3年太田さん

### 「ベスト16を目指す」



七月に北海道苫小牧市で開かれる全国高校総体(インタハイ)ソフトテニス競技ダブルスに出場する蒲郡市在住豊川高三年の太田晃さん(18)が二十六日、同市役所を訪れ「ベスト16を目指したい」と抱負を語った。

五月に一宮市であった県大会にペアを組む豊川高三年の磯部銀選手と出場し、8強入りを果たして全国大会へのきつぷを手にした。蒲郡市内の小中学校に通った太田さんは、中学時代に豊川市のソフトテニスクラブに入って本格的に競技を開始。「ソフトテニスはダブルスが基本。ペアの選手と声かけをしながら、連携してプレーするのが魅力」と説明した。

豊川高のインターハイ出場は四年ぶり。太田さんにとっては初の全国大会。鈴木寿明市長は「ベストを尽くして頑張ってほしい」と激励した。(西山輝一)

東愛知

### 愛知丸に乗船、三河湾を調査

県が来月29日 小中学生の環境学習会

県は、県内の小中学生(後1時45分〜同4時)を対象にした「三河湾環境学習会」を7月29日に開く。県立三谷水産高校(蒲郡市)の実習船「愛知丸」に乗船し、船内見学や三河湾の環境調査などを体験するイベント。

A班(午前9時15分〜同11時半)とB班(午後5時〜同7時)がある。

対象は小学4年生から中学生までの児童生徒とその保護者で、小学生は保護者同伴。募集はA班、B班とも各20人(1家族6人まで)。参加費無料。当日出発時間に合わせて蒲郡市港町の実習船愛知丸前に集合する。

参加申込書に必要事項を記入、ファクス(052・6563・5716)かメール(seikatsuniban@pref.aichi.jp)で県生活環境地盤対策室(052・9554・6220)へ。ファクスの場合は送信確認の電話が必要。締め切りは7月12日午後5時(必着)。応募多数の場合は抽選。(後藤康之)

東日

### 「おさかな学校」が沖縄へ

海・みなど・蒲郡実行委が参加者募集

「海・みなど・蒲郡実行委員会」(小田泰久実行委員長)は、沖縄県浦添市で魚について学ぶ「おさかな学校」の参加者を募っている。日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環で、参加者はサンゴ礁が広がる外海を舞台に、海を守る活動やごみ問題などを学ぶ。

日程は8月22日から24日までの泊3日。サンゴの苗作りの植え付けやシーカヤック体験、環境学習などがある。対象は蒲郡市内の小学4〜6年生と保護者。参加費は1組5万円。定員は5組10人まで。応募多数の場合は抽選で決める。

申し込みは7月18日まで、市ホームページで受け付けている。

問い合わせは、事務局(市企画政策課)電話0533(66)1162まで。

東日

# きょうから全国安全週間

## 労働災害防止へ高める意識と安全行動 みんなのゼロ災職場構築へ

労働災害の防止を推進する「全国安全週間」が1日から7日まで全国で展開される。本年度のスローガンは「高める意識と安全行動・築こうみんなのゼロ災職場」と題して、各職場や現場で安全意識を高めていく。

安全週間は、1928(昭和3)年から実施され、今年で96回目。人雷重という基本理念の下で、産業界の労働安全と安全活動の定着を図る目的で続けられている。

昨年1年間に東三河では労働現場で10人が死亡。うち5人はクレーン作業中に亡くなった。

蒲郡市では昨年1月、クレーンを使って鉄骨の積み込み作業中の男性(52)が、突風にあおられた鉄骨が倒れ、死亡した。本年度の「中防防・全国安全週間」は、蒲郡市では昨年1月、クレーンを使って鉄骨の積み込み作業中の男性(52)が、突風にあおられた鉄骨が倒れ、死亡した。



少ない若い労働者の死傷事故が多発。昨年は、現場経験の豊富な労働者の事故が目立った。動き出した高所作業車を止めようとした男性(44)が、電柱と車間に挟まれて亡くなる事故も発生。男性は建設業で経験20年のベテラン。とっさに車を止めようとしたとみられる。

東三河を管轄とする豊橋労働基準監督署は「経験のある作業員でも、想定外の事故に遭遇して思わぬ行動を取ることがある。各現場の危険性を考えて、必要な対策を図ってほしい」と呼びかける。

熱中症事故の約4割が室内の現場で起きている。気温や湿度、日射状況などを数値化した「WBGT値(暑さ指数)」の把握が重要とされ、指数計を現場に備えて対策を図ることも効果的。同監督署は熱中症とみられる労働者への対応について「1人で放置せず、速やかに救急搬送して受診させてほしい」と話す。

安全とサービスを両立する経営方法。愛知労働局は本年度から、企業の生産性向上や働き方改革などを促進する「安全経営あいち」の取り組みを開始。安全管理やコスト削減、品質維持などを一体的な視点で捉えて「企業価値の向上を図る戦略的な取り組み」としている。

熱中症事故の約4割が室内の現場で起きている。気温や湿度、日射状況などを数値化した「WBGT値(暑さ指数)」の把握が重要とされ、指数計を現場に備えて対策を図ることも効果的。同監督署は熱中症とみられる労働者への対応について「1人で放置せず、速やかに救急搬送して受診させてほしい」と話す。

1年間に計46人の作業者が発症した。過去10年間の統計では、7月と8月に多発している。

東愛知

## 南極の氷や化石など並ぶ

海・みなど・蒲郡実行委

### 市生命の海科学館で特別展

「海・みなど・蒲郡実行委員会」は、蒲郡市生命の海科学館で特別展「南極大陸2023 氷の下のタイムカプセル」を15日から開く。11月5日まで。

海の現状を伝え未来へ多くの人に海の大切さを知ってもらう。学芸員として各種イベントを開いてきた。今回は、氷に覆われた



南極の水を持って特別展の魅力を紹介する山中館長(蒲郡市役所)

南極大陸の謎と厚い海水を割って進む砕氷船「しらせ」の活躍を伝え、現在の海や地球環境について興味を深める機会として企画。国立極地研究所や海上自衛隊横須賀地方総監部などの協力で実現した。

展示は南極で採集された氷や岩石、化石26点に加え、南極観測に関する装備品などを用意する予定。22日と9月18日には、科学館の山中敦子館長が講師を務めるワークショップを開く。また、8月19日に名古屋大学博物館の東田和弘准教授による記念講演会も企画した。実際、南極で岩石採集した時の話をする予定。入場無料。ワークショップは事前予約制で科学館ホームページから申し込み。講演会は申し込み不要。

中日

- 高齢者叙勲(1日)
- 瑞宝双光章 元名古屋市立大杉小校長老田祥石氏
  - 小牧市光ヶ丘5の2の9▽瑞宝双光章 元山田村立花山小学校長川合章悟氏
  - 豊田市大桑町日陰平42の5▽瑞宝双光章 元基目寺町立基目寺小学校長黒宮智恵磨氏
  - 三重県桑名市筒尾4の19の10▽瑞宝双光章 元半田市立花園小学校長古川肇氏
  - 常滑市熊野町2の88▽旭日章 元一宮市議家田一氏
  - 一宮市八町通2の30の1▽瑞宝双光章 元特定郵便局長大島保久氏
  - 一宮市平島2の8の15▽瑞宝双光章 元江南農業改良普及センター所長加藤金幸氏
  - 稲沢市大塚南1の110▽瑞宝双光章 元愛知芸術文化センター文化情報センター所長佐野輝男氏
  - 知多市巽が丘4の358▽瑞宝双光章 元東海農政局長良川用水農業水利事業所庶務課長樋渡裕信氏
  - 一宮市今伊勢町馬寄山島59の1の703▽瑞宝双光章 元大蔵事務官松島広氏
  - 名古屋市中区葵3の24の7▽瑞宝双光章 元特定郵便局長松山司氏
  - 蒲郡市御幸町11の6▽瑞宝双光章 元特定郵便局長渡辺勝博氏
  - 稲沢市中之庄町高上1の86

東日

**渚のプラスバンド フェスティバル**  
9日、蒲郡

海・みなど・蒲郡「渚のプラスバンド フェスティバル」は9日午前10時から、蒲郡市海陽町のラグーナテンボスなどで開かれる。海上自衛隊舞鶴音楽隊や愛知県邦大吹奏楽団と東邦高マーチングバンド部による「T.O.H.O. MARCHING BAND」が出演予定。公演1回目はラグーナテンボスのフェスティバルマーケット・ピア桟橋で午前10時～11時30分。2回目は午後1時から海陽ヨットハーバー大屋根下。3回目はラグーナシア大階段で午後3時30分に開演。

いずれも観覧無料だがラグーナは入場料が必要。

東日

**風の針** 今年一番の暑さ。広く高気圧に覆われた2日、県内各地は晴れて気温が上がった。気象庁によると、豊田市では35・3度を記録し、今年県内初となる35度以上の猛暑日になった▼東三河でも、蒲郡市で33・6度、豊橋市で31・1度まで上がり、今年記録した最高気温をそれぞれ更新した▼梅雨明け前の厳しい暑さ。熱中症に警戒が必要だ。環境省ホームページに熱中症予防情報サイトがあり、熱中症の危険度を示す暑さ指数が公開されている。東三河では豊橋、蒲郡、新城、伊良湖の計4カ所の指数が出る。▼2日夕の時点で、3日正午予想で伊良湖の指数は「31」の「危険・運動は原則中止」と示された。他の3カ所も「厳重警戒」とあり、水分と塩分補給、休憩や室温調整など気をつけたい▼県内の週間天気予報によると、5日以降、雨の降る日が続く予報が出ている。前線が本州に停滞する予測もある。最新の気象情報を得て、暑さと雨に対応したい。

東日

中日



木下皓晴が182球の力投で完投勝利を挙げた(豊橋市民球場で)

**全員野球で 三谷水産5年ぶり初戦突破**  
粘り勝ち!

最後は、エース木下皓晴が投げ手をガツツリつかんで自ら一塁ベースを踏んだ。三谷水産が粘り強い全員野球で豊橋南との東三河対決に競り勝ち、5年ぶりの初戦突破を決めた。3年生4人、登録

メンバーわずか14人の小さなチーム。毎夏、恒例の「愛知丸」乗船実習を予定しているが、今年は全員そろい、フルメンバーで初戦に挑んだ。序盤は硬さが見られたが、5回に河村奏汰の二塁打など、3点を奪い逆転。8回にも中軸の連打で同点とし、延長10回の特別ルールでは相手ミスを見逃さず勝ち越し、この1点を全員で守り切った。試合後、忠内紀尚監督は「選手たちの最後まで諦めない気持ちで勝利につながった。昨夏1回戦の延長負けが頭をよぎったが、成長した姿を見せてくれた」と勝利を喜んだ。

最後は足を痛めながら182球で18奪三振の力投を見せた木下は「みんなの頑張りをムタにしたくなかった。先輩たちの思いを背負って最後は気持ちで投げた」と振り返った。(原田直樹)

**豊橋市民球場**

**三谷水産振り切る**

三谷水産0000300301  
豊橋南101004000067  
(延長10回タイブレーク)

(三) 木下 皓晴  
(豊) 國部 牧野 富田 虎

①三谷水産が好機を逃さず着実に点を重ね、豊橋南を振り切った。

三谷水産は八回2死二、三塁から河村の適時打で同点に追い付くと、十回に相手投手の暴投で1点を加えた。投げては木下が18三振を奪い完投した。

豊橋南は六回に岡田、園部の適時打などで4点を挙げたが、及ばなかった。

三谷水産―豊橋南 10回表三谷水産無死満塁で、暴投で生還してガッツポーズする三走中神宮となだれる豊橋南の投手牧野◎(豊橋市民球場で)



三谷水産が延長10回に勝ち越し東三河対決を制した(豊橋市民球場で)

東愛知

### 沖縄で「おさかな学校」 海・みなど・蒲郡実行委が催し

#### 来月22～24日の参加者募集

「海・みなど・蒲郡実行委員会」は、8月22日に沖縄県浦添市で開く「わくわく発見 おさかな学校「浦添ノ巻」」の参加者を募集している。7月18日まで。

海の現状を伝え未来へとつなげる日本財団の活動「海と日本プロジェクト」の一環。これまで、海の大切さを学ぶ場として各種イベントに取り組んできた。

おさかな学校は、深海漁が多く水揚げされる蒲郡市の漁業を知ってもらうイベント。今回は地元海以外にも触れ、海を守る重要性の理解を深める。蒲郡の友好都市、浦添市を選んだ。

8月22～24日、サンゴの苗作りの植え付け体験やマイクロプラスチック問題の学習、現地の魚介を食べる体験などを通じて、三河湾との違いなどを学ぶ。

市内在住の小学4～6年生児童と保護者が対象。参加費は飛行機代と宿泊費、体験料などを含めて1組5万円。応募は専用フォーム「QRコード」か、実行委員の事務局を務める蒲郡市企画政策課窓口にあるチラシから申し込む。

問い合わせは企画政策課(0533・66・1162)へ。

【林大朗】



問い合わせは企画政策課(0533・66・1162)へ。

【林大朗】

東日

### バイオリン&ピアノのしらべ 蒲郡で夏のミニコンサート開催

「バイオリン&ピアノのしらべ」夏のミニコンサートは3日、蒲郡市役所玄関ロビーで開かれた。岡崎市からバイオリンの浅井出紀さんとピアノの古川友理さんが訪れ、映画音楽を中心に7曲を披露した。

2人は映画「菊次郎の夏」や「ニュー・シネマ・パラダイス」などのサウンドトラックから、夏を感じさせる各曲を演奏。昼休みの市役所にさわやかな音色を響かせた。

浅井さんは県立芸術大学院研究科を修了し、国内の各コンサートで受賞歴がある。古川さんは名古屋芸術大出身。ピアノ講師や合唱の伴奏者として活躍している。浅井さんは「新型コロナウイルスで中止が続き、やっと開催できた。身近な場所が良い音楽を聴いてもらえたら」と話した。

(多田羅有美)



浅井さん(左)と古川さん(蒲郡市役所で)

読売

### 新城ラリー 今年最後に 一方的な通告 市長「不本意」

新城市は、2004年から「新城ラリー」について20回開催されていた自動で、今年3月の開催が最終

今年3月に開催された「新城ラリー」(新城市で)

日本ラリー選手権に昇格。年々増加した入場者数は、全日本ラリーで最も多くなるまでになり、今年は会場だけで2万6500人が観戦した。

同市などは実行委員会を組織し、企画や運営を担当するほか、市民ら有志も支援委員会を結成し、ラリーを盛り上げてきた。また、同市は、来年の開催に向けて、関連予算489万1000円をすでに計上している。

一方的な通告に対し、下江洋行市長は「情報を共有してほしかった。不本意で、残念な思い」と話した。

東愛知

### クオカードなど当たる デジタルスタンプラリー

「こどもパスポート」対象32施設  
東三河広域連合

東三河広域連合は地域住民を対象に、各市町村の公共集客施設を巡る「ほの国デジタルスタンプラリー」を開いている。スマートフォンで施設に設けたQRコードを読み取り、スタンプをゲットする。個数に応じてクオカードなどがもらえる。

カードなどがもらえる。11月末まで。専用ウェブサイトで参加できる。「ほの国」こどもパスポートの利用対象32施設で、QRコードを読み取って市町村のキャラクター入りスタンプを獲得。8個で2000円分のクオカード(25人)、4個でプラックサンダー詰め合わせ(40人)が当たる。

こどもパスポートは東三河在住か在学の小中学生に配り、対象施設の入場料が無料になる。スタンプラリーは大人も参加できる。

【加藤広宣】

